

令和4年「金融機関トップ対談」を各地で実施！

経営環境の厳しさが一層増している中、中小企業の経営改善支援に向けて認定支援機関（経営革新等支援機関）と税理士の連携を進めるために、本年4月から党書締結金融機関トップとTKC地域会会長との対談が全国各地で一斉に実施されている。対談の一部をレポートする。

TKC中国会

広島銀行・清宗一男頭取との対談

■とき…令和4年4月28日(木) ■ところ…広島銀行本店

MISによる信頼性の高いデータを融資判断や取引先への提案に活用

寺越 このたびは、広島銀行頭取へのご就任誠におめでとうございます。

清宗 ありがとうございます。

三木 最近ではコロナ禍も含め急速に外部環境が変化し、金融課題や顧客からのニーズが多様化していると思えますが、まず頭取に就任された率直な感想をお聞かせいただけますか。

清宗 金融業界に入り、37年目を迎えました。この間に大きく4回の非常に厳

しい局面がありました。まずはバブル崩壊、次に1998年前後の金融危機、その後はリーマンショック、そして現在のコロナ禍とロシア・ウクライナ問題です。こうした厳しい局面に遭遇しながらも地域の取引先、皆さまからのご支援とご協力があって、今こうして仕事をさせていただいていることに感謝しています。

三木 我々TKC会員も親身の相談相手として経営者に寄り添い、正しい財務情報に基づいた経営改善支援等に力を入れています。経営者が抱える課題の解決に向けて、広島銀行さんと一緒に頑張っ

出席者（敬称略）

■広島銀行

代表取締役頭取 清宗一男
 常務執行役員・営業統括本部長 横見真一
 法人企画部部长 中丸紀賢
 法人企画部法人企画室室長 加計巨樹
 法人企画部法人企画室課長 長田昌大

■TKC中国会

会長 寺越慎一
 名誉顧問 三木武彦
 副会長 安部知格
 TKC広島SCGサービスセンター長代理 天満晃士

ていきたいと思っています。

寺越 現在、広島銀行さんでは「TKCモニタリング情報サービス」（以下、MIS）を、今年2月末現在で決算書約2500件、月次試算表約400件利用



左から安部知格副会長、寺越慎一会長、清宗一男頭取、横見真一常務、三木武彦名誉顧問

されています。MISをどのように評価し、活用されていますか。

清宗 TKC会員事務所では関与先企業への定期的な巡回監査を実施して会計帳簿などをチェックされるとともに、「記帳適時性証明書」の発行などを通じて、信頼性の高い決算書を提供していただいています。MISでそのデータを迅速に提供いただけることを高く評価しています。

MISで提供いただいた決算書等は、行内のシステムにコンバートし、融資判断や取引先への提案に活用しています。このようなスキームを積極的に推進することで、MISの利用社数拡大にもつなげたいと考えています。

三木 金融機関サイドからもMIS普及のサポートをしていただけることをありがたく思います。我々も引き続き毎月の巡回監査終了後に直ちに試算表を提供する、あるいは確定申告後すぐに決算書のデータをMISで金融機関に提供することに取り組んでいきます。

連携のカギは互いの良いところを引き出し共に中小企業を支えていくこと

三木 先日、清宗頭取が広島銀行の行

員への思いを述べられている新聞記事を拝見しました。「我々はコンシエルジュであるべき」「自分達の業績よりもお客さまの業績が第一」と述べられていたのが印象的でした。

清宗 以前から三木先生、寺越会長と対話を重ねてコミュニケーションを深める中で、私どもが連携する本質は、TKCさんに利益があるとか、広島銀行にビジネスチャンスが生まれるなどという話ではなく、「地域の取引先をいかに支えていくか」にあると再認識できました。

連携においては、金融機関へ向けた「TKC経営指標（BAST）」閲覧サービスやMISのようなTKC会員の皆さんによる付加価値の高い取り組みと我々の取引先とのレーションや資金繰り支援など、互いの良いところ、強みを引き出して、地域の取引先を共に支えていくことが一番のポイントです。この点を双方が軸として持ち続けられれば、今後も良い関係を築いていけると思います。

三木 おっしゃる通りですね。清宗頭取の考えをお聞きし、TKC会計人の基本理念である「自利利他」と同じ考え方をベースに持つておられると思いました。

清宗 我々はホールディングス化しま

したが、その大きな理由は、貸出主体のビジネスだけではもはや地域の取引先を支えられなくなっているからです。金融機関にとって一丁目一番地である資金繰り支援を基軸にしながら、「広島銀行ができることは何か」を取引先と対話を重ねながら常に考え、一緒に汗を流しているつもりです。

寺越 地元広島を守っていくという使命感を大変心強く思います。

地元企業の経営改善を支援するため 行内の専門チームを増強

寺越 コロナ禍で厳しい経営を強いられる企業が増加し、ゼロゼロ融資で借り入れをしている顧客は多いと思いますが、状況はいかがでしょうか。

清宗 資金繰り支援はゼロゼロ融資を中心にかなり行き渡ったと考えています。しかし、昨年後半から徐々に法人の取引先の預金取り崩しが顕著になっており、今後どう資金繰りを支えるかが課題といえます。我々がその選択肢をどれだけ幅広く持ち、取引先と対話できるかどうかのポイントになると思っています。

当行には、企業の経営改善を支援する

チームがありますが、このたび増強し、対応できる領域等を拡大しました。どのような手段であれば問題解決に近づくかをしっかりと把握、分析し、地道に取り組んでいきたいと思えます。

寺越 コロナ禍における中小企業をサポートするため、我々TKC会員も認定支援機関として、また顧問税理士として、中小企業の経営革新支援・経営改善支援に全力で取り組んでいます。今後「ポストコロナ持続的発展計画事業」実践等も、金融機関の皆さんと連携しながら取り組んでいくつもりです。

清宗 中小企業がコロナ禍を乗り越えていくための支援をTKC会員の皆さんと協力して進められればと思っています。また、コロナ以前の経営の継続が難しい企業や、これから新たに起業するお客さまを支援するスタートアップの仕組みを立ち上げています。今後この機能を充実にさせ、新しいビジネスだけではなく、事業の再構築を目指していくお客さまを支えられるようにしたいと考えています。先ほど申し上げた「BAST」は融資判断に重宝しています。決算を迎えた取引先に提供している業績レポートの数値を「BAST」の同業他社平均値と比較

したらどうなるかといった活用もしています。

月次巡回監査を通じた適時・正確な 会計帳簿が企業支援全ての要

安部 私は第5代TKC中国会会長に就任する予定となっており、今日は「リーダーの背中」を見せていただいている思いです。リーダーたる者、考え方にぶれないことをあらためて確認でき、私自身、中小企業を共に支えていくために必ずに取り組んでいこうと意を強くしております。

寺越 全国のTKC地域会においても役員の世代交代が進み、若返りが図られています。同様に、顧問先も若い経営者が増えるとともに、インボイス制度など新たな制度への対応が求められています。DX実現に向けた取り組みは中小企業において重要な経営課題となっております。我々も全力でサポートしています。

清宗 おっしゃるように、時代は劇的に変わっています。個人のお客さまは、24時間いつでも好きな場所で申告できるアプリを利用される方が増えました。当行もこの6月から法人に対してWeb



ベースのポータルサイトを立ち上げる予定です。お客さまのニーズに応じて、対面とリモートのどちらにも対応していきたいと思います。

TKC会員の皆

さんも時代対応されていますが、巡回監査によつて企業の正しい会計データの作成を支援し、それを企業だけでなく、我々金融機関にご提供いただくという軸の部分は変わらないと思いますし、より一層求められるのではないのでしょうか。その点からも信頼性の高い決算書等のデータをMISでタイムリーに提供いただけるのは本当にありがたいことです。

三木 やはり、

月次試算表などのデータが正確にタイムリーに出てくるのが重要です。コロナ禍における補助金申請など、非常時においてもそうしたデータがあるからこそ迅速な支援が行えました。経営者にとつても、正しくタイムリーな会計数値は経営において不可欠な情報です。我々は引き続き、遡及処理を禁止しているTKCシステムを活用して適時・正確な会計帳簿の作成を支援し、月次巡回監査を通じた信頼性の高い決算書の作成に取り組んでいきます。その実践を通じて関与先企業の経営改善、黒字化に貢献したいと願っています。

添付書面には金融機関が知りたい情報が網羅されている

三木 税理士法第33条の2による書面添付制度は定着しつつあり、税務署からはその件数を増やしてほしいとの要請があります。近年は金融機関におかれても書面添付に注目し、実践している企業を評価していただいています。

安部 我々は書面添付の実践に長年にわたり力を入れてきました。すでに実践している会員はさらにその品質に磨きを

かけるとともに、書面添付だけでなくMISの実践件数をさらに増やし、金融機関の皆さんの中での認知度も高めていくように取り組んでいきます。

横見 書面添付（添付書面）は、その取引先の情報を読み解く際に非常に有意義な資料となっています。記載内容は、金融機関として知りたい情報が網羅されており、ご苦勞のもと作成されたことがよく分かります。書面添付は非常に助かっていますので、実践される方が増えることを願っています。

寺越 書面添付は、毎月の巡回監査の積み重ねの上に成り立っていると、我々税理士がその資格をかけて実践している業務でもあります。ぜひこれまで以上に注目いただきたいと思います。

コロナ禍により広島銀行さんとの交流会は2年ほど開催が見送られています。連携を深めて地元の企業を支援していくために、交流会を再開していきたいと思っています。

清宗 ぜひ再開したいですね。既存の会員の皆さんはもちろん、新たな会員の方々とお会いできるのも楽しみにしています。

(TKC広島SCGサービスセンター長 福井貴英)

広島銀行とTKC中国会広島県東部支部による勉強会。9支店をWeb接続して実施された（令和3年12月16日）